

たのはた

復興へのご支援に心から感謝します



お姉ちゃんのお話し 楽しいね！

田野畑中学校の学習図書委員などが2月25日、若桐保育園で絵本の読み聞かせ活動を行いました。お兄さん、お姉さんのお話しに園児たちは大きな歓声を上げました。(関連記事 23 ページ)

主な内容

- 新1年生将来の夢 4頁
- 村政策提言諮問会議から提言..... 7頁
- 平成27年度施政方針演説 8頁
- 東日本大震災追悼式..... 19頁

たのはた児童館

3月17日、たのはた児童館（中里民子館長、園児48人）の卒園式が行われ、卒園児20人が3年間通った児童館から卒園しました。保育証書授与では、園児が一人ずつ名前を呼ばれ、緊張した面持ちで登壇。保育証書を受け取ると、父母へ感謝の言葉と共に手渡ししました。父母らは子どもの成長を実感しているようでした。

中里館長は「甘えっ子で泣き虫さんだった入園の頃から3年。たくさんの経験をして頼りになるお兄さん、お姉さんに成長しました。小学校でも友達と仲良く遊んでください」とお祝いの挨拶しました。

■写真

①男児10人、女児10人が卒園②保育証書を受け取る園児はキチンとして立派③「お父さん、お母さん、いつもありがとう」感謝の言葉に涙④在園児に見送られ笑顔で卒園



■写真

①緊張した面持ちで卒業証書を受け取る有谷美晴さん②卒業生は真新しい制服に身を包み、中学校での飛躍を誓いました③6年間を振り返った門出の言葉に感涙



飛躍を誓う

田野畑小学校（大井教子校長、児童151人）の卒業式が3月20日、田野畑小学校体育館で行われ、26人の卒業生が真新しい制服に身を包み、中学校への希望を胸に門出を迎えました。

卒業生は、入学後1年間は旧6小学校で過ごし、2年生から統合後の田野畑小学校で学びました。2年生の3月には東日本大震災を体験するなど、変動の大きい小学校生活を過ごしてきました。

全員で述べた門出の言葉では、三閉伊一揆を演じた学習発表会を振り返り、一度きりしかないチャンスをつかむため、事前に気持ちを投入する必要があることを学びましたと父母に成長した姿を見せました。

田野畑小学校

若桐保育園

若桐保育園（鈴木康子園長、園児44人）の卒園式が3月21日、若桐保育園ホールで行われ、卒園児13人が保護者や先生、在園児から祝福され卒園を迎えました。

保護者を代表して挨拶した似内誠さんは「子どもたちが数年前、初めての集団生活に飛び込んでいったのが昨日のようです。安心して保護者が仕事に向かえたのは、どんなときも笑顔で子どもと私たちを見守ってくれた先生方のおかげです。優しく寄り添ってくださり感謝の気持ちでいっぱいです」と感謝の言葉を述べました。

■写真

①男児8人、女児5人が卒園②先生とお別れのハイタッチ③卒園児、保護者、先生、みんな笑顔で卒園式を迎えました



田野畑中学校

田野畑中学校（関向正俊校長、生徒99人）の卒業式が3月14日、田野畑中学校体育館で行われ、30人の卒業生が学びやを巣立ちました。卒業生は本年度、最後の下北陸上で男女総合8連覇を成し遂げるなど、団体や個人がさまざまな分野で輝かしい成績を修めました。

関向校長は「試練をもちもせず、明るい未来と夢の実現を信じて、努力と感謝を続ける諸君は村の財産。人の言葉に耳を傾け笑顔を忘れず、他の人の支えに感謝し、当たり前前に感謝し、辛いことにも感謝する前向きな考えで行動するとき、必ず道は開けます」と式辞を述べました。

■写真

①関向校長から卒業証書を受け取る有谷颯希さん②感謝を込めて花束を父母へ贈る③野球部の後輩から手厚い祝福を受ける前川綾雅くん④卒業生が3年間の思い出「3月9日」を合唱



笑顔・元気・感謝を大切に



を叶えよう

新1年生



「おおきくなったら
なにになりたい?」

田野畑小学校への入学を心待ちにしている新1年生。そんなみんなに、将来の夢を書いてもらいました。



熊谷 柊耶くん (田野畑)

けいさつかん



梶谷 心優ちゃん (菅窪)

とれすやさん



高橋 柚希くん (田野畑)

サッカーせんしゅ



似内 陽ちゃん (菅窪)

いぬの
とこやさん



工藤 諭良くん (島越)

ほいくし



佐々木 望子ちゃん (島越)

だんさー



竹下 耀晴くん (菅窪)

サッカーせんしゅ



小野寺 柊くん (西和野)

パフヤさん



中崎 吏夢くん (北山)

うちゅんしゅ



佐藤 舞優ちゃん (机)

ほいくし



竹花 丞生くん (猿山)

こらじの
おひさん



三上 結楽ちゃん (浜岩泉)

アイドル



牧原 玄武くん (大芦)

サッカーせんしゅ



東崎 仁美ちゃん (浜岩泉)

ケーキさん



下机 捺結ちゃん (机)

ほいくし



泡淵 陽音くん (北山)

マグいさん



畠山 愛望ちゃん (羅賀)

モデルさん



中村 春樹くん (羅賀)

サッカーせんしゅ



菊地 緩南ちゃん (沼袋)

スケートの
せんしゅ



奥地 紗永ちゃん (千丈)

かんごいさん



佐々木 崇人くん (切牛)

りょうし



武井 暁星くん (大芦)

りょうし



舘野 叶くん (羅賀)

いしお



中村 心海ちゃん (羅賀)

あいどる



早野 七惺くん (羅賀)

サッカーせんしゅ



畠山 心歌ちゃん (羅賀)

とりまー



佐々木 柊音くん (甲地)

どうぶつ
あかせ



永本 結愛ちゃん (甲地)

ほいくし



佐々木 駿斗くん (甲地)

ツリねし



藤島 望桜ちゃん (甲地)

モデルさん



八角 真央ちゃん (菅窪)

けーきさん



坂本 優尽くん (田野畑)

けいさつかん



佐藤 陽菜乃ちゃん (西和野)

ほいくし



打野 将章くん (羅賀)

カンフーめいじん

各種予防接種実施します



高齢者用肺炎球菌が定期予防接種に

高齢者用肺炎球菌が定期予防接種となりました。

なお、すでに高齢者用肺炎球菌の予防接種を行ったことがある人は対象外です。

◆対象…下記の①又は②に該当する人

①今年度中に65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳になる人

②60歳以上65歳未満の人で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能障害を有する人

◆接種日時…4月1日(水)～平成28年3月31日(木)のうち、月～金曜日(水曜日の午後と祝日除く)午前9時～午前11時30分、午後2時30分～午後4時

◆料金…無料
※上記の対象者以外の方は有料

◆予約…希望日の1週間前までに診療所(☎33-3101)に予約してください

おたふくかぜ予防接種

◆対象…満1歳以上就学前までの未接種・未罹患者

◆接種日時…4月1日(水)～平成28年3月31日(木)のうち、毎週火曜日(祝日除く)の午後4時～4時30分

◆予約…希望日の1週間前までに診療所(☎33-3101)に予約してください

◆料金…無料。ただし無料は1人1回

予防接種の
問い合わせ先 保健福祉課(☎33-3102)

日本脳炎予防接種

平成17年～平成22年3月末日にかけて、接種の積極的勧奨を差し控えたことにより、日本脳炎の定期接種を受ける機会を逃した平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれで、接種日現在に20歳未満の人は、定期予防接種として受けることができます。接種を希望する人は、母子健康手帳にて接種歴を確認のうえ、国保田野畑村診療所へ予約してください。

◆接種日時…4月1日(水)～平成28年3月31日(木)のうち、毎週火曜日(祝日除く)の午後4時～4時30分

◆料金…無料

◆予約…希望日の1週間前までに診療所(☎33-3101)に予約してください

子宮頸がん予防接種

村は、子宮頸がん予防接種を、中学校1年生～高校1年生の女子を対象に実施していますが、現在、国の方針により積極的な接種勧奨を控えています。これは、ワクチン接種後に副反応などがみられたためです。積極的に勧めることはできませんが、予防接種を受けることは可能です。希望する場合は、その有効性と副反応などを理解したうえで接種してください。

◆接種日時…4月1日(水)～平成28年3月31日(木)のうち、毎週火曜日(祝日除く)の午後4時～4時30分

◆予約…希望日の1週間前までに診療所(☎33-3101)に予約してください

人口減少対策について

村政策提言諮問会議から提言

村民と政策過程を共有し、村民の参画による村民主体の政策運営を展開することを目的に昨年設置された村政策提言諮問会議。平成26年度は村が提示した審議テーマ「人口減少対策」について26年11月と27年1月に審議され、3月、下記のとおり村に提言されました。今後、提言を踏まえて事業を実施していきます。

村政策提言諮問会議(委員長・齋藤俊明、副学長)から3月、村における人口減少対策についての提言書が提出されました。

提言書

- 1 人口減少の自然的要因、社会的要因を丁寧に分析すること
 - 2 人口減少がもたらす課題を各地区単位で共有し、議論する機会を設けること
 - 3 具体的な施策検討にあたってのポイントは以下のとおり
- (1) 地域資源の再発掘・事業化
 - ・地域産業の創出・6次産業化を推進すること
 - ・人的・物的資源を掘り起こし、具体的な活用・事業化に結びつけること
 - ・産業開発公社が利益を上げ、雇用の受け皿となれるよう、機能強化を図ること
 - (2) 結婚・出産・子育てへの支援
 - ・村内在住の子育て世代やこれから結婚する人を逃がさない取組を検討すること
 - ・子育て世代への心のサポートを行うこと
 - ・村の子育て支援策を積極的に内外に情報発信すること
 - (3) 村を生活拠点としてもらうための条件整備
 - ・三陸復興道路の整備に伴い、通勤可能エリアが拡大しても生活の拠点として田野畑村を選択してもらうために必要な施策を検討すること
 - ・住環境の整備を図ること
 - (4) U・I・Jターンの促進
 - ・村へのU・I・Jターンを促進し、定着を図ること
 - ・村を上げてU・I・Jターンを受け入れる雰囲気づくり、環境づくりを行うこと
 - (5) 交流人口の増大
 - ・これまでに培ってきた大学・企業との交流・連携を深めること
 - ・観光面の機能強化を図ること(観光協会の設立について検討すること)
 - ・観光・交流の拠点となる道の駅の機能強化を図ること
 - ・三陸復興道路の整備を踏まえ、いかに村内の観光資源への周遊性を高めるか検討すること
 - ・村外に住む出身者や田野畑村に関心を持つ方を巻き込んだネットワーク・コミュニティの形成を図ること



海から田野畑村を楽しもう

運航時刻(所要時間50分)			
1便	9:30	2便	12:00
3便	13:30	4便	15:30
臨時便	10:40(5/3のみ 11:00)		
臨時便は5/2～5、8/13・14・16、9/19～22のみ運航			
運賃			
大人	1,460円	小人	730円
※15名以上で団体割引有り			

北山崎断崖クルーズ
4月11日運航開始!
昨年7月に運行再開した「北山崎断崖クルーズ観光船」が今年も4月11日～11月3日まで運航予定です。
昨年とは運航時間が変わりますのでご注意ください。
■問い合わせ先: ホテル羅賀荘(☎33-2611)



◆診療時間: 午前9時～正午、午後2時30分～5時30分(受付: 午前8時30分～11時30分、午後2時から4時30分)

◆問い合わせ先: 村診療所(☎33-3101)

問はずに来院してください



施政方針目次

- はじめに 8
- 震災からの復興
 - (1) 生活再建(生業の再建など) ... 9
 - (2) 防災の地域づくり 9
 - (3) 地域振興 10
 - (4) 地域の創生(まち・ひと・しごと/地方創生) ... 11
 - (5) 自治の協働 11
- 予算編成の方針 12
- 主要施策の展開
 - (1) 産業の活性化 13
 - (2) 保健・医療・福祉の充実 ... 13
 - (3) 社会資本の整備 14
 - (4) 社会資本の整備(通信部門) ... 14
 - (5) 社会資本の整備(道の駅構想) 15
 - (6) 環境と空間とコミュニティ ... 15
 - (7) 教育の振興 16
- 結び 16
- 教育行政方針 17

平成27年度施政方針

「地域づくりは人づくり」「繋がる」「幸福度」をキーワードに村政運営を展開

平成27年第3回村議会定例会が3月5日に開会しました。村づくりの方向性や新年度の主要事業など、石原弘村長が行った施政方針演述、熊谷勤己村教育委員長が行った教育行政施政方針演述の内容を掲載します。

はじめに

平成27年第2回田野畑村議会定例会が開催され、平成27年度当初予算案及び各種特別会計予算案をご審議いただくにあたり、新年度の村政運営に取り組む所信の一端を述べ、本村議会並びに村民の皆様のご深いご理解とご協力を賜りたいと存じます。

東日本大震災・大津波から4年の年月が経過しようとしています。この時に大事にすべき格言的な言葉があります「地図より羅針盤を持って」であります。どのような状態にあっても大事なものの一つを持って、生命を守る・生き抜くことであると解しています。この示唆に富んだ言葉を置き換えて考えますと、地域の羅針盤として、村民の命を守り抜くという信念、どのような逆境にあっても活路を見出すという気概をもって臨むという基本姿勢でもあると思っております。今後においても、この姿勢を貫いていく考えです。

現下の状況においても、地域の羅針盤の軌道と未来道を大事にしなければなりません。そして、昨

震災からの復興

東日本大震災・大津波から4年の年月を顧みますと様々な思いが込み上げてきます。遺族・被災者の方々にとりましては表現し難く、筆舌に尽くしがたい年月であったと思っております。この度の大津波によって変わり果てた故郷、家族や友人・隣人などを失った悲しみは、これまでとは異なる死生観を否が応でも感じさせられ、その悲しみと怒りが、被災者の心よりどころを失い、時間が止まったようでもあるということを感じ及んでいます。

この厳しい現実を踏まえて、この先にある希望に向けての一步が踏み出せず、重苦しい生活を送られてきたのが被災者ではないでしょうか。人の一生は重き荷を背負い、遠き道を行くが如し、であります。この大震災の想像を超えた更なる重荷を背負わされた時心から沸き立つ怒りは、その矛先をおさめるところもなく、只々、耐え忍ぶ年月であったと察するところと



黎明台団地で整備が進む集会所

前段で申し述べましたとおり、現下の村政運営で最優先に取り組むべき課題は、先の大震災津波被害からの復興は当然のことではあります。人口減少問題をも中心に据えて対応していく考えであります。

震災復興 1 生活再建 (生業の再建など)

国内は総じて人口減少の時代に突入し、本村をはじめ多くの地方自治体は、少子高齢化と過疎化の課題に直面しております。今こそ、村民の皆様が住み続けたいと思っ

ていただける村づくりに積極的、継続的に取り組んでいかなければなりません。そのためには、被災者の方々の生活再建を最優先に、生業を再建

水産業を震災前の水準に

生業は、特に震災で大きなダメージを被った漁業の振興を図るためには、漁港周辺等の有効な土地活用が不可欠です。

今回の震災では、島越と羅賀の両地区だけでも約50ヘクタールの土地が浸水しました。浸水地域の土地の利活用にあたっては、地権者は勿論のこと、地区自治会や漁

させるための条件整備に取り組んでいく考えです。

住宅再建及び災害公営住宅については、造成工事を進めてきた全4団地の整備後に住宅再建用地の分譲も完了し、災害復興公営住宅整備についても、4団地全てが完了し入居いただいているところであり、一定の目的が立ったところ

業協同組合、漁業者等の意向を踏まえつつ、国庫補助事業の条件等との調整を図るとともに民間企業等のノウハウを活用しながら、土地利用策を検討してきました。このことから、水産用地の早期復旧を図るため、新年度予算において水産用地の整備費用を計上し、水産振興事業の展開を通じて一日も早く震災前の水準に近づけるよう、自助努力を基本とし、出来る範囲の支援をしていく考えです。

この点において、全村的な地域産業の輪を広げ、産業団体の結束を強めること、産業の6次化においても自由参加、皆で築くこれまでにない活動の広がりを期待し、行政として、6次化の活動に対し、最大限の支援と協力をしたいと考えています。

なお、震災等緊急雇用対策事業については、被災された方々を中心とした緊急的な雇用対策として、13事業、事業費総額9900万円余の事業を実施することとしていますが、一方で、地域産業生産力向上、雇用改善等を図るためには、雇用全般の配置・誘導の方向性、雇用有効情報のあり方など含め、恒常的な産業への雇用誘導・配備などを確立すること、地域経済・雇用状況を踏まえ、段階的な対応を図ることが緊要となっております。このような取り組み

震災復興 2 防災の地域づくり

先の大震災を踏まえ、昨年度策定した村防災計画に従い、「自助」「共助」「公助」の連携のもと、総合的かつ即応性のある防災対策が必要と考えています。それを支える機能させるものは、災害に対する自主防衛・初動体制が大切であると思っております。

村民の生命と財産を守ることを最優先に、昨年度は、島越地区と羅賀地区、明戸地区において自治会や地域住民と行政が一体となつて、新たな視点で身近な津波避難路の点検、検証の総括を行いました。事業計画である漁業集落防災機能強化事業による避難道と併せて避難路にあつては地形的・運用的な特性も考慮しながら柔軟な整備を目指す考えです。

今後とも防災訓練等を通じて津波避難路を実踏するなど、特に児童生徒や要援護者等の避難誘導体制を図り、防災教育の観点から「命」を守る訓練に取り組んで参



災害時の対応拠点施設となる村中央防災センター

りたいと考えています。

中央防災センター（防災まちづくり拠点施設）、羅賀地区防災センターは今年度完了し供用を開始していますが、中央防災センターを防災拠点・中枢として、村内の各地域の消防防災センターとの連携を図りながら、消防・防災の機能強化を図って参ります。

災害に備え備蓄庫を整備

新年度においては、防災まちづくり拠点施設備蓄倉庫の整備と小型動力ポンプ付積載車3台の更新を計画しています。

更には、中央防災センターの地域防災機能の強化を図るために不

可欠であるヘリポートの整備も検討したいと考えています。

地区から要望のあった街路灯の設置整備については、今年度整備しましたが、追加的な要望がある場合は柔軟に対応したいと考えています。強化すべき公共施設等については、田野畑村公共施設再生可能エネルギー等導入事業により整備する計画です。先に述べた津波避難路等との兼ね合いもありませんので、その点を考慮しながら適宜対応していきます。

通信連絡施設ですが、防災行政無線施設の屋外拡声子局については、黎明台団地と拓洋台団地に新たに整備したところであり、これからの住宅再建に対応した屋外拡声子局の新設や戸別受信機の設置等についても対処していきます。

自助・共助・公助で防災を

万一の自然災害等に備え、沿岸部のみならず内陸部にあっても、自らの命は自らが守る「自助」と、地域住民がともに連携する「共助」、そして行政の担う「公助」を有機的に組み合わせることで、防災・減災の地域づくりが形成できると考えますが、村民の安心と安全の礎は、地域の絆によつ

て維持・確保すること、初期・初動の対策においては重要性を秘めていることから、防災は「地域コミュニティ」によって支えていただき、消防関係機関・団体との連携・強化などにより、重層的な地域防災を構築する考えです。

3 地域振興

震災復興

少子高齢化の進展により、多くの地域で従前の活力の維持が厳しい現状ですが、一人一人の想いを結集して取り組まなければ衰退するだけに終わってしまいます。過般の増田リポートで日本全体に衝撃が奔った消滅可能性市町村のデータが公表・発表されましたが、その示すところは、気づいてやらなければ消滅するだけに終わる。しかし、この警鐘を機に地域創生に取り組まなければ本当に消滅するといふものであると考えるべきだと解しています。また、消滅するといふより自治が機能しない地域が増加するといふものです。

定住化は、若い世代が家族を構成するなど、多様な年齢で構成されていることが理想ですが、そのためには、それぞれの地域に魅力

と輝きがあること、教育・保健・医療・福祉が充実しているなど分野別の条件が整っていることが不可欠となります。三陸沿岸道路の整備によって、通勤の広域化の進展（三陸沿岸道路によって労働業種の多様性、勤務場所の拡大、広域的産業形成など）を視野に入れ、諸政策を展開することを盛り込んでいくところであり、今後においても、その対応策を適宜、講じます。

小規模地域の多い本村にあって、これらを実現するためには、地域や民間の自助努力あるいは行政の施策展開のみでは限界があることから、地域連携による地域づくり、村民と行政の役割分担、村外の理解者との協働・手作りの地域づくりを進め、ソフト事業の展開と充実が喫要です。

結婚支援対策は県と連携

また、結婚対策を講じるべきとの提言を受け、村内企業との交流促進を切り口とし、婚活支援事業を組み入れました。同時に、岩手県においても婚活支援事業を実施する方向で県議会に予算提案しているとの情報もあることから、その内容を踏まえて、広域的な婚活事業についても、随時検討します。

4 地域の創生

震災復興

（まち・ひと・しごと）地方創生



村の将来を担う地域の宝、田野畑っ子

国は、人口減少に歯止めをかけるとともに、将来に渡って活力ある社会を維持するべく、先般、「まち・ひと・しごと創生法」を施行しました。

国においては、地方創生枠と経済対策として補正予算が成立し、事業計画の承認後、3月議会において追加補正予算計上することが求められているので、この点についても、上記の地域振興事業と輻輳的に執行する考えです。

各指標で業務進捗を管理

同法の施行を受け、村では、人口減少の克服、地方創生の実現を図るべく、来年度中に村としての「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定します。

国においては地方総合戦略に付加すべき指標の一つとして、「KPI（重要業績評価指標）」があります。この「KPI」は目標達成プロセスの実施状況を計測するためのものであり、実践・実行の度合（パフォーマンス）を定量的に示す指標です。今後の行政が求められる指標としては、「KGI（重要目標達成指標）」の達成に向けてそのプロセスが適切に実施されているかどうかを中間的に計測としてKPIを駆使しながら、行政における業務目標（ゴール）の達成度合いを定量的に管理することが求められることから、今後の行政業務評価と達成度について、この点を視野に入れて努力します。

この「人口ビジョン」及び「総合戦略」の策定にあつては、人口動向や産業実態などの現状分析を行うとともに、村民（年齢層別構成）をはじめ、広く関係者の皆様、専門家等の意見を聴きながら、地域性と戦略性、あるべき地域像など、広範かつ重層的な構想を策定及び効果を見出せる「人口ビジョン」及び「総合戦略」になるよう皆様と共に取り組めます。

6次産業化で仕事を創る

まち・ひと・しごと法の関連事



1次産業の振興や担い手の確保なくして6次産業化は成り立ちません（写真：昨年11月ニンジン収穫の様子）

5 自治の協働

震災復興

実行性を組み合わせ、次の展開を見出していきます。

地域づくり計画を作成しているところですが、地域づくり計画においてもPDCAサイクル（注釈参照）を活用し、加えて、地域間の交流・研修会等、地域間の相互理解と切磋琢磨する地域づくりに資するものであると思っております。地域計画の積み上げによって村づくりが形成されていくという位置づけを含めて、地域自治の深化を目指して参ります。

※PDCAサイクルとは：
PLAN（計画）↓DO（実行）↓CHECK（評価）↓ACT（改善を繰り返すこと）によって、業務を継続的に改善する手法のこと

予算編成の方針

新年度の予算編成について、本年1月に国から示された平成27年度の地方財政計画では、一般財源総額は61兆5485億円、前年度比2.0パーセントの増となっております。地方が地方創生に取り組みつつ、安定的に財政運営を行えるよう、前年度の水準を相当程度上回る額が確保されたところです。

しかし、少子高齢化の進展等による社会保障関係費の大幅な増大や、依然地方債依存度が高い水準で推移しており、地方財政を取り巻く環境は、いまだ予断を許さない状況です。そうした中、地方交付税の総額は、16兆7548億円、前年比0.8パーセントの減となっております。別枠として計上される震災復興特別交付税は5898億円、前年度比3.1パーセントの増となっております。

本村における近時の決算により算出された健全化判断比率における実質赤字比率、連結実施赤字比率、実質公債費率、将来負担比率等の指標において、国の基準を下回っておりますが、今後の国の予算方針及び地方財政計画の内容によっては予断を許さない状況も予想されることから、プライマリーバランスを堅持したいと考えています。

こうした厳しい状況下にあつて、本村の平成27年度予算編成にあつては、事業効果、効率性、政策の優先度などを総合的に勘案し、被災地の生業再建施策、地域課題等の最優先を図りながら、「東日本大震災田野畑村災害復興計画」及び「田野畑村総合計画」並びに「人口減少問題・地域創生」を実現と解決等に向けて事業を組み込みました。

主要施策の展開

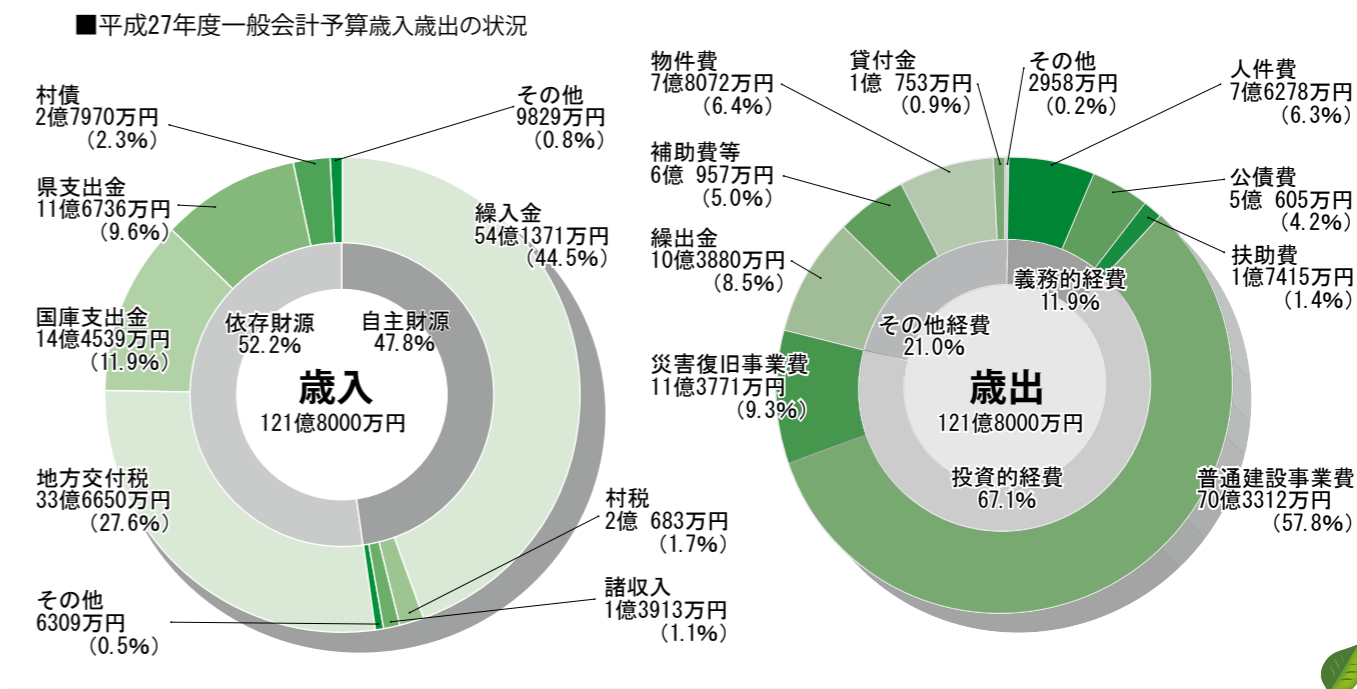
主要施策の展開について、事業執行においては、PDCAサイクルを活用し、業務を円滑に取り進めます。

主要施策 1 産業の活性化

本村の振興発展は、農林水産業の振興を基幹としながら、2次・3次産業との有機的な連携を基礎として地域経済全般に活力を創生していきたくと考えています。

1次産業は、生産の場であるのみならず、国土の保全や水源涵養、地域文化の継承、自然景観の形成など、多面的な役割を担っている産業であることから、本村の豊かな自然を生かした「環境保全型」「環境を消費しない」産業振興を目指します。

農林水産業振興に関わる具体の事業として、いわて地域農業マスタープラン実践支援事業、菌床しいたけ生産支援及び安定生産対策事業、原木しいたけ生産振興事業、いわて型牧草地再生対策事業、和牛繁殖導入事業、優良乳牛・優良肉牛生産支援事業、サケ資源回復



■平成27年度の予算規模（全会計）※端数処理の関係で数値に若干の差があります 【単位：万円】

区分	27年度	26年度	増減	伸び率		
一般会計	121億8000	139億8500	-18億500	-12.9%		
特別会計	国民健康保険会計	6億7886	6億1223	6663	10.9%	
	事業勘定	6億7886	6億1223	6663	10.9%	
	直診勘定	1億3000	1億4982	-1981	-13.2%	
	簡易水道会計	6億8421	12億6156	-5億7735	-45.8%	
	集落排水会計	4億6591	5億1549	-4959	-9.6%	
	下水道会計	5051	4246	804	18.9%	
	介護保険会	事業勘定	4億7447	5億718	-3270	-6.4%
		サービス勘定	324	279	44	15.9%
	後期高齢者医療会計	3559	3222	337	10.4%	
	小計	25億2278	31億2375	-6億97	-19.2%	
合計	147億278	171億875	-24億597	-14.1%		



地層などを観光資源として活用するジオツーリズム

主要施策 2 保健・医療・福祉の充実

保健・医療・福祉の充実については、各種の健診や保健事業の推進と診療所運営、そして関係機関との連携を図りながら、村民が心身ともに健康で過ごせるよう、その充実を期します。

保健活動については、行政が所管する様々な事業の連動を図りながら、子供から高齢者までを対象とした健康づくり・スポーツの日常化に向けて、官民連動を図ります。

病気になるない予防活動として、食事・運動・休養といった生活習慣の改善による病気の予防に取り組み、高齢者福祉にあつては、介

プレミアム商品券を発行

民間企業との連携を模索するなど、その実現に積極的に取り組みます。

中小企業振興資金融資と利子補給及び信用保証料補助、中小企業被災資産復旧支援事業等によって、事業者の経営を支援します。同時に、今後の商店街のあり方、復興後において大事なテーマになっている買物弱者への対応等について、関係機関との意見交換や調整を進

事業、田野畑村漁業協同組合再生営漁活動支援事業、島越地区及び羅賀地区水産共同利用施設復旧整備事業、水産業機能回復支援事業、明戸川へサケの遡上を容易にするため導流堤の整備、遊休地解消に向けた多面的機能発揮対策交付金など始めとする事業制度等を活用し、多様な事業を展開します。

国の緊急経済対策による地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用して、地域消費喚起型プレミアム商品券の発行・販売を行い、商業振興と地域経済の消費喚起等を図ります。

観光振興にあつては、NPO体験村・たのはたネットワークや陸中たのはた等と連携しながら、これまで推進してきた体験型プログラムの提供に加え、今年度に供用した北山崎断崖クルーズ観光船やジオツーリズムの観点や地域文化・食文化など、村の有している資源を有効に観光事業にリンクさせた滞在・交流型観光を充実させたいと考えています。

田野畑村の魅力アピールし観光客呼び込み、地域活力の増進に寄与など、地域情報のゲートウェイ機能として「観光協会(仮称)」の組織化に向けて検討すべきとの提言を受けたところであり、その具現化に向け、関係機関と検討します。

産業振興は、各部門の振興策を連携させることが重要なことから、数年後の三陸沿岸道路を地域経済活性化に向けて活用する道路として、村民参加による政策の展開により、産業集積・地域拠点づくりに向けた取り組みを進めます。



放課後児童クラブはアズビィホール会議室を利用

護を必要とする方々に対する施設等でのサービスの体制等の充実を図ることを目指します。

壮年・高齢者において、これまで培ってきた技能や経験を發揮できる短期就労や社会参加活動の機会づくりを支援します。

具体の事業として、医科、歯科の診療所運営をはじめ、乳幼児健康診査事業、各種予防接種事業、インフルエンザ予防接種事業、健康診査等事業、歯科保健事業を行うほか、まごころ宅配便事業、シルバーサポーター設置訪問事業、自殺予防対策事業、人間ドック・専門ドック助成事業、敬老会の開催、障がい者に係る自立支援給付事業、地域生活支援事業などを通

じて保健・医療・福祉の充実を図ります。

また、児童福祉等の分野にあつては、高校生への医療費助成制度を継続し、乳幼児から高校生までの医療費を給付するほか、妊産婦やひとり親家庭、寡婦に対する医療費給付、今後の児童福祉対策の充実を期していく考えです。

保育所における待機児童対策について、27年4月入所分は、待機児童は発生しない見込みです。

また、年度途中での入所希望に對しても対応できるよう、保育士の確保等に引き続き取り組みむこととしていきます。

なお、放課後児童対策としての学童保育については、新年度は小学1年生から6年生までを対象に「放課後児童クラブ」として、月曜日から土曜日、また、小学校の長期休業中や振替休日にアズビィホール会議室で開設する予定です。

児童の放課後対策を検討

放課後児童クラブは、現下の課題を克服するため、既存施設を活用した臨時的かつ即応的な運用であることから、過般の議会及び議員全員協議会で示したとおり、恒久的な施設整備に向け、出来るだけ

け早急に当該施設の整備を進めま

す。子育てプラン、子育て支援制度の充実に向けて、西欧諸国の優良事例を参考にし、田野畑村独自の子育て支援のあり方（定住化対策等）について、研究・検討すべきとの提言があったところから、この点についても引き続き、諮問会議において継続してご審議を頂きます。

3 社会資本の整備

先の大震災で被災した水産関連施設をはじめ、村単独では整備できない大規模な産業基盤や社会資本の整備は、将来にわたって本村の振興発展に不可欠です。

道路関係では、道路の適切な維持管理と村道切牛真木沢線の交差点改良、社会資本整備総合交付金事業による橋梁の長寿命化に向けた修繕工事のほか、田野畑インターチェンジアクセス道路の用地買収、菅窪和野線、沼袋田代線、沼袋三沢線、そして復興交付金による西和野団地の道路整備や北山崎線、明戸北山線、田野畑平井賀線、長嶺線などの村道路線の改良及び改良舗装工事を順次進めます。

ムも含めて、システムの構築を図ります。このシステムは、全村民が使える、若人・女性・年齢層の横断的な交流に寄与し、凛と輝く村へと変貌を遂げていきます。

この整備は、今後の行政サービスのあり方について、大きく左右されることから、村としても専門的なノウハウを蓄積、事業執行体制を整えるため民間からの出向職員として2名を採用し、行政全般の通信網のシステム化、行政の効率化、コミュニティの再構築等、広範な情報網の整備を図ることを目的とするものです。この構想を取りまとめ、事業実施に向けて邁進していきます。

この整備の概要は、村内に光ファイバーを配線し、かつ、WiFi施設を備え、家庭と行政機関、村内外の情報発信・つながりを強化するもので、その双方向性の情報を管理し、住民と行政の情報に留まらず多面的な情報活用の広がりが期待されるものです。これまででの行政サービスをスピード化・効率化できるなど、様々なメリットが生まれます。これまで行政サービスにおいて創造できない分野を含めて、潜在する情報を掘り起しデジタル化すること、地域の情報伝達に因与する若人の集い、高齢者が安心して暮らせるシステ

5 社会資本の整備 (道の駅構想)

三陸沿岸道路（命の道・心の道路・復興道路）の整備が進められており、この道路整備のアウトカム（成果）を創りだすためには、復興を牽引する沿岸道路に付随した道の駅を整備し、地域情報・地域産業等、単なる物販だけでなく「地域の臍」としての機能、地域交流の核となる機能を持たせることなど、多様性と発展性を持った道の駅を目指します。

この道の駅構想は、今後の地域経済を左右するものでもあり、地域を存続させる点においても大きな意味合いがあると考えています。このことから、新年度においても、その道の駅の構想の実現のため、国の関連するソフト事業の導入を図り、新たな道の駅構想を取りまとめます。



三陸沿岸道路開通に合わせてリニューアルを検討する道の駅

この道の駅構想は、居場所づくり、役割づくりなど、地域創造の核となるもので、人が笑顔に出会える場所づくりです。また、村のゲートウェイ機能を有し、1次産業から3次産業が連動する場所として展開する構想でもあり、現下、振興している「6次化」などの産業活動と連動した新たな拠点づくりを目指すものです。

国が求めている道の駅は、官民が連携することで地域の活性化に資する整備であり、道の駅の第2ステージを目指し、物販のみではなく地域の特性を生かした事業構成を図ることを事業目的としています。この事業趣旨に沿って、住民の参加による構想づくり、ソフト活動に重点を置いて取り組みたいと考えています。

また、復興交付金の島越漁港地区及び平井賀漁港地区で実施する漁業集落防災機能強化事業によつて、地区内の集落道整備等を行うほか、羅賀地区の主要地方道岩泉平井賀普代線の嵩上げ工事に着手します。

上下水道については、引き続き羅賀及び田野畑浄水場と切牛簡易水道施設の改修を行うほか、島越及び羅賀地区の集落排水施設の復旧を行い、全箇所です了する計画です。



27年度から防潮堤の工事が始まる平井賀地区

4 社会資本の整備 (通信部門)

地域資本の目的は、人と人が出会うため、人が生活するため、人が生きるためです。人のふれあい

6 環境と空間とコミュニティ

本村には「花笑み基金」による環境づくり・景観づくり等を支援する制度が確立されており、花を植え・花に囲まれた暮らしの醸成、花薫る空間に共感する多いものと考えております。

昨今、日本社会で「空間」と「コミュニティ」という概念が論じられ、注目されています。今後、行政においても環境という括りだけではなく空間とコミュニティ空間と健康という視点も加わり、新たな政策を展開の項目となると考えています。豊かな農村の空間は、太陽に照らされた野の花、花に舞う蝶と鳥の空間は、生きがいとコミュニティの深化に寄与することが期待されています。

この活動の目指すべき姿は「ターシャの庭」だと思っており、この癒しの場所づくりに憧れを田野畑村が持っている魅力ある自然感に田野畑版ターシャの庭をボランティアによって展開して頂くことを期待するものです。

自ら地域を創るといふボランティア精神・活動に対して行政として最大限支援し、共にその理想郷づくりに向けて検討します。この活動は、村民の生きがいと健康づくりにつながることを大いに期待しています。

主要施策 7 教育振興

教育の振興にあつては、別途、熊谷教育委員長が「教育行政施政方針演述」を行います（次ページに掲載）。教育委員会事務局との綿密な連携のもとに、本村児童生徒の健全育成と学力向上、そして社会教育、社会体育、文化の振興に資する生涯教育の充実発展を期すように努めていく考えです。

総合教育会議については、教育委員会の設置、組織の目的や機能等と相まって、地域の児童生徒の学習機会の創造等に向けて行政としての総合的な支援が出来るよう、機能させていきます。

昭和40年代から『教育立村』を標榜して参りました。「地域づくりは人づくり」の村づくりは、時代は変われども、地域の理念として薄れることはなく、半世紀ほど年月が過ぎても、いぶし銀の光を放ち続けています。

教育は、百年の計で取り組むものであり、地域の是として永続的に取り組むべきものだとして理解しているところであります。

東日本大震災・大津波において支援・応援いただいた方々、田野

結び

畑村を愛し、応援いただく方々に感謝し、その真心に報いるためにも、社会に貢献する人材を輩出すること、教育によって村が立つという本質であると思つていきます。私たちの村は、子供たちを大事に育ててきたと「誇り」を持ち続けなければなりません。その意味において子供を育てる・人づくりを進めていくうえでも、その理念は「村是」として位置付け、時代性を加味し、人づくりを展開して参ります。

以上、震災からの早期復興及び主要施策の概要について申し述べましたが、これらに要する平成27年度の予算総額は、一般会計で121億8千万円、特別会計を含めた全会計では147億円余りとなりました。

震災からの早期復興を目指すとともに、健全な財政運営と村民福祉の向上を目指した予算編成を行ったところです。事業実施にあつては予算の節減を図りながら、最大の行政効果が図られるよう努めて参ります。

震災復興関連の事業推進にあつ

ては、本村にあつても入札不調の事態が散見されるほか、職員体制が不十分であることや建設資機材及び技術作業員の不足等の影響が出ておりますが、本村の将来を見据えた着実な村政発展の礎を築いていくために、県内外から本村に派遣された職員を含めた村職員一丸となり、復興の歩みを緩めることなく全力を傾注して参ります。

新年度を「新生たのはた」づくりに向け、今年度設置しました「田野畑村政策提言諮問会議」の運用を始めとする、諸制度においても村民の意見を聞き取りながら、皆で創る田野畑村・風通しの良い村づくり、村政の政策過程を村民と共有し、村民が参画する機会、提言した事柄が一つひとつ実現することなど、村民が参加意欲・持続可能な地域社会・村民が主役の村づくりを展開していきます。

今後においても、村民の皆様の声に耳を傾け、住民が未来に夢を抱き、希望を持ち続け、住み続けたい・住みたい村、幸福度が増す村づくりにつながるように、全力で村政運営にあつて参ります。

村民は行政当局と議員との実りある政策論が交わされ、その実現に向けて村民が一丸となって取り組む地域像を希求しています。



震災前と変わらぬ景観で観光客を魅了する弁天島

平成27年度 教育行政方針

熊谷勤己 教育委員長

教育基本法や学校教育法等の教育関連法規や、学習指導要領、県教育委員会の教育行政方針、村政運営方針等に沿いながら、本村の教育課題克服のために、次に掲げる基本方針や重点施策により、「学校教育の充実」、「社会教育の推進」、「社会体育の推進」、「文化の振興」を進めます。

東日本大震災により被災を受けた地域や家庭、児童生徒の支援も含めた教育環境の再建、復興に重点を置いた各種施策を推進します。

① 学校教育の充実

また、子どもたちの心身のケアに努め、「生きる力」に必要な「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む取り組みを推進します。

社会教育や社会体育では、村民のニーズに応じた事業を推進し、村民の健康と生きがいづくりに努めます。

健やかな体を育む教育の推進のため、学校体育を充実するとともに部活動やスポーツ少年団活動の場を提供します。

小中学校9年間を見直し、人間としての成長や学びの連続性を重視した小中連携（貫）教育の研究や実践を、家庭、地域とも連携し推進します。

特別支援教育の充実では、児童生徒の自立や社会参加に必要な力を育むため、特別支援教育支援員の配置を継続します。

② 社会教育の推進

不登校やいじめをなくすため、児童生徒一人一人を大切に教育を行います。

児童生徒の心のケアを継続します。教育環境の充実では、教育の機会均等のため、就学援助や奨学金の貸与を継続します。

③ 社会体育の推進

学校施設については、児童生徒が安全で快適に学べるよう施設の改善に努めます。

各種社会教育事業、生涯学習の事業について、村民のニーズに応じて、計画的な取り組みを行います。

④ 文化の振興

相互の実践交流を深めます。村教育振興運動50周年を経過し、より一層の運動の充実を図ります。

「田野畑村教育のつどい」を開催し、村民の教育への関心を一層高め

地域や家庭の教育力の充実・向上のため、家庭教育学級を開催し、児童生徒の基本的生活習慣の確立を目指します。

深谷市や藤崎町との小学生交流事業を実施し、児童の交流を深めるとともに両市町との交流を深めます。

アーラム大学や早稲田大学等との交流を広げます。

推進体制の充実のため、村体育協会、スポーツ推進委員、各種団体と連携を図り、スポーツ教室や大会を企画し、村民のスポーツ活動を推進します。

議員の皆様におかれましては、更に、村民のための議員発議による政策提言を賜り、当局との相互の有用な政策議論・政策案を村政に反映し、村民の総参加、秘めた地域力が引出し、また、発揮してもらおう環境づくりを進め、現下の課題である「復興と人口減少問題」を解決しながら、次なる時代「成熟した地域社会」を目指していくという姿勢で臨んでいただくことを、あらためて、切に御願いたします。

村民の皆様並びに議員各位の村政運営に対する、なお一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。平成27年度の村政運営にあたる施政方針、所信の一端とさせて頂きます。

体育施設の適正な維持・管理に努め、利用者の利便性の向上に努めます。

村民文化展や青少年劇場を開催し、村民や児童生徒の芸術文化活動の振興を図ります。

芸術文化活動の振興のため、村芸術文化協会や郷土芸能伝承団体及び各種サークルの支援を行います。

民俗資料館の展示品や展示方法を工夫し、一層の入館者の増加を図ります。

埋蔵文化財の発掘調査は、引き続き県教育委員会の指導により迅速に取り組みます。

平井賀漁港海岸施設(防潮堤)災害復旧工事開始

羅賀地区平井賀を津波から守る防潮堤の計画がまとまり、3月19日、平井賀漁港平井賀地区で安全祈願祭が行われ、防潮堤整備工事が着工となりました。



神事で工事の安全を祈願

東日本大震災の津波が防潮堤を乗り越え被災した平井賀地区。被災を免れた住宅や水産関連施設を守る新しい防潮堤の計画がまとまり、3月19日、平井賀漁港で工事の安全祈願祭が行われました。

新しい防潮堤は、平井賀漁港の南港から北岸壁入り口までの385m、高さはTP14・3m(注釈)、津波の進入を防ぐ平井賀水門と道路を遮る門扉は、村中央防災センターから遠方操作で閉鎖できるようになります。平成29年度の完成を目指し工事が進められます。

※TP：日本水準原点である東京湾平均海面からの高さ



平井賀水門

平井賀漁港南港船揚場から見た完成イメージ図

島越地区コミュニティセンター建設工事開始

三陸鉄道島越駅西側に整備を予定している島越地区コミュニティセンターの建設工事がいよいよ始まりです。震災から4年目を迎え、島越地区の地域振興、コミュニティ再生に寄与することが期待されます。



完成イメージ図

鉄骨造平屋建て延床面積は394.9㎡。9月末の完成を予定



建設予定場所で行われた安全祈願祭

東日本大震災で被災流失した島越地区の黎明館。村は、震災直後から島越地区の地域コミュニティの再生に欠かせない施設として「島越地区コミュニティセンター」の整備を災害復興計画で示し、建設に向けて島越駅西側の地盤整備などを進めてきました。

3月16日、建設予定地で建設工事の安全祈願祭が行われ、石原弘村長や地権者代表、島越地区自治会役員、工事関係者など約35人が出席。神事やくわ入れなどを行い、工事の安全を祈りました。

石原村長は「東日本大震災により島越は大きな被害を受けたが、村を愛する多くの人の力を注いで再び地域をつくり、次世代へバトンをタッチしていきたい」と挨拶しました。

島越地区行政区長の下村博光さんは「被災した島越地区の住民が気軽に集まれる施設となる。村と連携し、島越駅と一体の施設として有効活用し、地域振興、観光客の受け入れに役立てていきたい」と語りました。

あの日から4年

東日本大震災追悼式

平成21年3月11日の東日本大震災で、本村は大津波により死者、行方不明者41人、全壊流失等の被災住宅281棟と甚大な被害を受けました。あの日から4年、約200人が追悼式に参列し、犠牲者を悼みました。

3月11日、アズビィホールで「田野畑村東日本大震災追悼式」を開催しました。大震災発生から4年のこの日、村内外から約200人が参列し、犠牲者に哀悼の意を表しました。

国が行う式典の国歌斉唱、黙とう、安倍内閣総理大臣の式辞、天皇陛下のおことばを映像中継した後、村追悼式を進行しました。

石原弘村長は「4年という歳月を重ねた今も、被災者が受けた悲しみ、苦しみは深く、未だ消えることはありません。二度と津波で人命を失わないためにも住民の生命と財産を守る環境づくりを早急に実施し、地域防災力の強化と人材育成により災害に強い村づくりを進めてまいります」と式辞。震災からの早期復興を誓いました。

遺族代表の追悼のことばなどの後は、参列者が祭壇に献花を行い、津波犠牲者の安らかな眠りを祈りました。



献花を行う参列者



献花ではグラツィアの生演奏が奏でられました



遺族代表 追悼のことば



遺族代表 星 真弓さん (42・久慈市)

本日ここに、田野畑村東日本大震災追悼式を執り行いただきましたことに、石原村長をはじめ、ご来賓の皆様、たくさんの方々に心より感謝申し上げます。

あれから4年が経ちました。あの日ことは一生忘れる事ができません。私は父と離れて暮らしていましたが、「何が起きているんだろう」と不安でたまりませんでした。連絡が取れず、とにかく早く迎えに行かなければと不安が大きくなるばかりでした。本当に、今でも信じられません。

身の危険も顧みず、一生懸命、父を助けようとしていた島越の方々に改めてお礼を申し上げます。傷ひとつない体で、優しい父の顔のままでお会いしていた事、心から感謝しております。本当にありがとうございます。

病気だった父を心配して何人もの方が声を掛けて来ていただいたと後から聞き、温かい人たちの中で暮らしていたんだと思いました。そして、父の最後にも、たくさんの方々に声を掛けていただきました。本当にありがとうございます。

父は、孫の事となれば病気ににかかわらず、週末になると毎週のように、私の住む久慈市に会いに来てくれました。そのためか、「そろそろ来るかな」と、今でもふと思ってしまう。

父には大きくなっていく孫の姿をずっと見ていてほしかったし、私も父が小さい頃になつていく姿を見たかったです。優しく、声が大きくて、かっこいい父でした。

家族で新しくなった島越駅を見に行ったとき、震災前の駅の写真があり、自分の家が写っていたのを見つけた時には涙があふれそうになりました。

汽車の音、乾燥機の音、波の音、父が私を呼ぶ声をもう一度聞きたいです。私は、これからは自分の子ども達に父との思い出や、小さい頃に遊んだ場所を見せていきたいと思っています。

これからますます田野畑の復興も進んでいくと思います。新しくなっていく島越は、私達の子どもの達にとって、楽しい思い出をたくさんくれる場所となるように願っています。

最後に、東日本大震災でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りし、遺族代表の言葉とさせていただきます。



【震災前】



【震災直後】



【震災から1年】



【震災から2年】



【震災から3年】



【震災から4年】



【震災から4年】

机地区

昨年は更地だった場所に机浜番屋群が完成。春から観光客の受け入れが始まります。漁港は引き続き復興整備中です。



【震災から3年】

明戸地区

村マレットゴルフ場がオープンし、キャンプ場の整備工事も完成。集落へ向かう道路兼離せん堤を整備中です。



【震災から2年】



【震災から1年】



【震災直後】



【震災前】

復興の軌跡

村全体が大きな悲しみや不安に包まれたあの日から4年。日本全国、世界各地からの支援に支えられ、少しずつですがでも確実に、一步一步前に進んできました。村は1日も早い復興へ向け、復旧工事などを進めています。



【震災前】



【震災直後】



【震災から1年】



【震災から2年】



【震災から3年】



【震災から4年】

島越地区

昨年は駅の開業、観光船の運航再開と明るい話題が続きました。27年度はコミュニティセンターが完成予定です。



【震災から3年】

羅賀地区

津波を防ぐ県道かさ上げ工事の整備計画がまとまり、27年度から工事が着工となる予定です。



【震災から2年】



【震災から1年】



【震災直後】



【震災前】



【震災から4年】



絵本を読んであげる佐藤 俊介さんと熱心に聞き入るコスモス組の子どもたち

中学生が保育園で読み聞かせ

田野畑中学校学習図書委員などが、読書活動ボランティアグループ「ぐるんぱ」の指導を受け、2月25日、若桐保育園で園児へ絵本の読み聞かせを行いました。

この日は11人の中学生が参加。お兄さんやお姉さんが読む絵本に園児たちは夢中になって聞き入りました。

参加した平坂瞳子さん（2年生）は「子どもたちを楽しんでもらおうとがんばりました。また機会があったら子どもたちに読んであげたいです」と笑顔で語りました。

手描きの「誕生花」をプレゼント

田野畑絵画クラブ（島山富喜子会長）は、3月13日、田野畑中学校（関向正俊校長、生徒99人）の3年生30人に生年月日にちなんだ手描きの「誕生花」の作品を贈りました。

作品はクラブメンバー6人が心を込めて描いたもの。クラブを代表して贈呈式に参加した穂高育雄さんは「自分の個性を大切に花のようにきれいに咲かせてください」と挨拶。新田元気くんは「きれいな絵をもらい嬉しかったです。これからも美しい絵を描き続けて欲しいです」と語りました。



卒業する3年生全員にそれぞれの誕生花が描かれた絵が贈られました

サケ稚魚放流し環境保全を学ぶ

教育振興運動羅賀地区実践協議会（前原拓会長）が3月8日、明戸川でサケ稚魚放流体験を行い、小中学生約30人が元気の良い稚魚約5万尾を川へ放ちました。

村サケふ化場の橋場明彦場長は「今年は震災の年に放流されたサケが戻る年。村では放流できなかったで帰帰率の低下を心配しています。サケは川の匂いを頼りに、生まれた川へ戻って来ると言われています。川を汚さないようにしましょう」と川の環境保全を訴えました。



保育園児から中学生まで一緒にサケ稚魚の放流を行いました



特殊詐欺被害にあわないよう、熱心に勉強しました

羅賀楽生会が詐欺被害を学ぶ

2月25日、ホテル羅賀荘で羅賀楽生会（下坂弘次会長、会員26人）が総会に合わせて、特殊詐欺被害防止の勉強会を行いました。

講師を務めた岩泉警察署刑事生活安全課の八木秀行係長は「最近金融機関の口座に現金を振り込ませる以外にも、宅急便やレターパックで現金を送らせたり、駅などへ現金を届けさせる手口が増えている」と特殊詐欺の傾向を紹介しました。なお、昨年の県内での特殊詐欺被害は、1年間で85件、4億2800万円の被害額となっています。



撤去後は防災用品備蓄倉庫が建築されます

高校仮設団地集会所でお別れ会

3月14日、羅賀地区の被災者が生活する高校仮設団地の集会所が4月に撤去されることからお別れ会が開催されました。お別れ会には羅賀地区の被災者約30人が参加。生活再建のため多くの話し合いを繰り返した集会所に別れを告げました。高校仮設団地では定期的にお便りを発行しイベントを開催するなど、被災者の生活再建に向けて力を合わせて活動してきました。今後もすべての被災者の生活が再建するまで、活動を継続していく予定です。

巢合の三陸沿岸道路工事を見学

巢合地区で工事が進む三陸沿岸道路の工事現場の見学会が3月21日開催され、住民約30人が工事の現状説明を受けました。

現場は巢合公民館西側の山中で、道路を造るために掘削やのり面工事などを大型重機で進めていました。

巢合行政長官の佐々木哲夫さんは「工事現場を見学し、掘削や土砂搬出など工事関係者の苦勞が分かりました。道路が早く開通し、交通が便利になると良いですね」と期待を込めて語りました。



搬出される土砂は明戸地区や野田村で活用されます



工事現場

巢合公民館

至久慈

至宮古

お別れ会ではカラオケと踊りで盛り上がりました

お知らせ

緊急雇用事業で サンマッシュが従業員募集

- ◆作業内容…シイタケの試験栽培全般、データ集計など
- ◆募集人数…若干名
- ◆賃金…時給 678 円～
- ◆作業時間…午前 8 時～午後 5 時（時間は要相談）
- ◆募集期限…期限は設けず、随時受け付けています
- ◆応募方法…履歴書(写真付き)を提出してください(郵送可)。後日、面接の日時などをお知らせします
- ◆応募・問い合わせ先…(株)サンマッシュ 田野畑 (〒 028-8404 田野畑村松前沢 54-8 ☎ 37-3570)

知 村営住宅の入居者募集

- 村は、村営住宅(定住促進住宅)の入居者を募集します。
- ◆募集住宅・規模
 - ①西和野団地 8 号棟 101 号室(菅窪 18-41)木造 2 階建の 1 階 2 世帯のうち 1 世帯 30.2㎡(居室 1 室、ダイニングキッチン、トイレ、浴室)
 - ◆使用料…月額 30,000 円(定額)
 - ◆敷金…月額使用料の 3 カ月分 ※許可日から 10 日以内に納付
 - ◆入居可能日… 4 月中を予定
 - ◆申込期限… 4 月 10 日(金)
 - ◆入居資格…市町村税の滞納がなく村に住民登録できる人
 - ◆収入基準…家賃の支払いが可能な所得のある人
 - ◆その他…申し込み多数の場合は、抽選により選考。必要書類などは担当課に問い合わせてください
 - ◆申し込み・問い合わせ先…建設第二課(☎34-2113)

知 固定資産税「評価替え」実施

- 固定資産税は土地や家屋、償却資産の評価額から算定されます。27 年度は 3 年に 1 度の評価替えの年にあたり、土地、家屋について 3 年間の資産評価の変動が価格に反映されます。
- 変動後の評価額については、4 月中旬に送付される納税通知書や課税明細書を確認してください。
- 土地の評価替え…土地の評価額は、県が公表する地価調査価格や不動産鑑定価格の 7 割程度を基準にして決定
 - 家屋の評価替え…家屋の評価は再建築費(仮に「今、」建築した場合の建築費)を基準とし、建築物価の動向と家屋の経過年数を反映させて決定。この評価額は増改築や取り壊しなどが無い限り平成 27 年度から 29 年度までの 3 年間は据え置かれます。
 - ◆問い合わせ先…税務会計課(☎34-2112 内線 34)

知 土地の課税面積が変わります

- 国土調査による土地登記の完了に合わせて、平成 27 年度の課税からは登記面積と課税面積を一致させて課税を行います。
- それに伴い、固定資産税額が変更になる場合がありますのでご注意ください。
- 平成 27 年度の納税通知書は 4 月中旬にお届けしますが、所有している土地について確認したい人は随時お問い合わせください。
- ◆問い合わせ先…税務会計課(☎34-2112 内線 34)

募 はまなす号運転手募集

- 教育委員会は「はまなす号」の運転手を募集しています。
- ◆条件…普通自動車免許(A T 限定は不可)
 - ◆勤務…月 3 日、1 日約 4 時間
 - ◆賃金…村規定による
 - ◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)

知 被災した固定資産の課税免除

- 東日本大震災により被害を受けた土地および家屋について、地方税法の特例措置により課税を免除しておりました。
- この特例措置は平成 26 年度で終了しますが、新たに村の条例によって引き続き免除が受けられることになりました。
- 免除を受けるための申請などは不要ですが、4 月中旬に送付される納税通知書の記載方法が変更になっていますのでご注意ください。
- ◆問い合わせ先…税務会計課(☎34-2112 内線 34)

知 固定資産の課税台帳を縦覧

- 固定資産税の課税の基になっている「固定資産税課税(補充)台帳」を縦覧します。
- 土地売買や家屋を取り壊した場合に、台帳の内容が訂正されていないと、誤って課税されることがありますので確認をお願いします。
- ◆縦覧期間・時間… 4 月 1 日(木)～30 日(木)・午前 9 時～午後 5 時 ※土、日、祝祭日は除く
 - ◆場所…役場 税務会計課
 - ◆問い合わせ先…税務会計課(☎34-2112 内線 34)

募 参加者などを募集中

知 いろいろなお知らせ

募 国税専門官採用試験について

- 仙台国税局では、税務職員を募集しています。国税専門官は、国の財政を支える重要な仕事を担い、税務署などにおいて調査・徴収・検査・指導などを行う税務のスペシャリストです。
- ◆受験資格
 - ①昭和 60 年 4 月 2 日から平成 6 年 4 月 1 日生まれの人
 - ②平成 6 年 4 月 2 日以降生まれの人で次に該当する人
 - (1)大学を卒業した人および平成 28 年 3 月までに大学を卒業する見込みの人
 - (2)人事院が(1)に掲げる人と同等資格があると認める人
 - ◆受験申込受付期間… 4 月 1 日(水)から 4 月 13 日(月)まで
 - ◆受験申込方法…原則インターネットで申し込み
 - ◆1 次試験… 6 月 7 日(日)
 - ◆問い合わせ先…仙台国税局人事第二課試験研修係(☎ 022-263-1111 内線 3236)

知 消火器購入を斡旋します

- 村女性消防連絡協議会では、家庭用消火器の購入斡旋を行います。協力隊員や各地区の婦人防火クラブ員が各家庭を訪問し、購入希望者を取りまとめますので、購入を希望する人はこの機会に申し込んでください。
- ◆斡旋する消火器
 - ・製品名：A B C 粉末消火器(蓄圧式粉末 6 型)
 - ・価格：1 本 6,500 円前後
 - ◆その他…価格は注文本数により多少の変更があります
 - ◆問い合わせ先…田野畑分署(☎34-2119)

知 小中高校生の医療費を助成

- 村は就学前乳幼児の医療費助成に加え、小中高校生の医療費を助成しています。助成を受けるためには申請が必要です。
- ◆対象…小中高校生
 - ◆助成期間…就学時から 18 歳に達した年度の 3 月 31 日まで
 - ◆所得制限…なし
 - ◆対象医療機関…保険医療機関および保険薬局
 - ◆申請期限…診療月の翌月末日(例：4 月受診分は 5 月末日まで)
 - ◆給付までの流れ…①医療機関の窓口で医療費を支払う②医療機関の領収書を 1 カ月分まとめる③翌月末日までに役場窓口に領収書と医療費給付申請書(緑の用紙)を提出④申請した翌月末日までに保護者の口座に給付
 - ◆申請時の持ち物…助成対象者(小中高校生)の健康保険証、通帳(保護者名義のもの)、印鑑、在学証明書(高校生の場合)
 - ◆問い合わせ先…生活環境課(☎ 34-2114 内線 25)

知 国民年金保険料について

- 4 月から国民年金保険料は月額 15,590 円になります。
- 保険料は 1 年間分または一定期間分をまとめて納めると割引されます。4 月上旬に送付される納付案内書に前納用の納付書も同封されますのでご利用ください。
- なお、27 年度分前納期限は 4 月 30 日(木)です。
- ◆問い合わせ先…宮古年金事務所(☎0193-62-1963)

人口と世帯		火災	
3 月 1 日現在()は前月比		(2 月 21 日～3 月 20 日)	
人口	3,668 人(-2)	火災の【今月】	1 件
男	1,825 人(±0)	発件数【今年】	1 件
女	1,843 人(-2)	無火災の連続記録	(3 月 20 日現在) 24 日
世帯	1,439 世帯(±0)		

放射性物質濃度検査 全箇所を目安以下

◆検査結果(測定日・3 月 9 日)

測定場所	平均測定値 (512kV/時)
田野畑小学校	0.064
田野畑中学校	0.068
たのはた児童館	0.054
若桐保育園	0.067
役場	0.079
アズビィ楽習センター	0.072
村営野球場	0.031
思惟大橋公園	0.054
北山崎園地	0.058
山海ろはたハウス	0.090
鶉の巣断崖園地	0.065

- ◆調査結果…文部科学省による校庭、園庭の空間線量率目安(1 時間当たり 1 マイクロシーベルト)を下回りました
- ◆問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線 22)

知 年金保険料免除申請について

- 平成 26 年 4 月から、国民年金保険料の免除申請期間は、申請時点から 2 年 1 カ月前までさかのぼって免除申請できるようになりました。
- 2 年 1 カ月前までの期間中に未納期間がある人は早めに手続きをしてください。申請が遅れると、万一の際に障害年金などを受け取れない場合があります。
- なお、免除は、本人および配偶者、世帯主の前年所得などの状況に基づき審査しますので、承認されない場合があります。
- ◆問い合わせ先…宮古年金事務所(☎0193-62-1963)または生活環境課(☎34-2111 内線 23)

平成27年度 人事異動

村職員、広域消防職員、学校教職員の人事異動をお知らせします。

村職員



- ◆政策推進課
課長兼復興対策課長―久保豊 政策推進班主査―大澤健
- ◆生活環境課
生活環境・国保介護班主査―大澤広美、副主任―中野千鶴、主任看護師―阿部春枝
- ◆建設第一課
課長兼用地対策室長兼建設第二課長―島山恵太、道路・上下水道班主査―早野和彦、副主任―横山順一
- ◆建設第二課
漁港・住宅班主査―佐々木賢司、副主任―小向啓太郎
- ◆保健福祉課
保健福祉・包括支援センター班主査―晴山美恵子
- ◆国保・田野畑村診療所
診療班主任看護師―武田律子
- ◆教育委員会事務局
主任―工藤真樹
- ◆議事事務局
事務局長兼選挙管理委員会事務局局長兼選挙事務局局長兼農業委員会事務局局長―大澤喜男
- ◆退職者
政策推進課長―銀形金由、議事事務局局長兼選挙管理委員会事務局局長兼監査委員事務局局長兼農業委員会事務局局長―奥地弘武

◆新採用

総務課総務・財政班主事―和山哲大、復興対策課復興対策班主事―熊谷航大、産業振興課産業振興・水産復興班主事―小野寺祥史、教育委員会主事―菊池匠太

◆新採用(任期付き)

総務課総務・財政班主事―松家幹

広域消防

異動転出者
カッコ内は異動先
分署長―佐々木重光(川井分署)
消防第二係長―佐々木規雄(山田消防署)
消防士長―阿部大紀(新里分署)
消防士―佐々木祐介(宮古消防署)
消防士―坂下晴哉(宮古消防署)

教職員

異動転出者
カッコ内は異動先
◆田野畑小学校
副校長―中村悟史(盛岡市立山岸小、副校長) 教諭―木村かおり(宮古市立田老第一小、教諭) 教諭―島山利美子(岩泉町立小本小、教諭) 養護教諭―堤絹子(宮古市立宮古西中、養護教諭) 事務主任―中村一恵(久慈市立小久慈小、事務主任)

◆田野畑中学校
副校長―富永秀寿(北上市立鬼柳小、校長) 教諭―遠藤暢隆(中部教育事務所遠野市派遣駐在・指導主事) 養護教諭―鈴木純子(盛岡市立北松園小学校、養護教諭)

人権擁護委員に堀川さんが就任

村の人権擁護委員に堀川孝男さん(61)が就任しました。任期は4月1日から平成30年3月31日までの3年間です。人権擁護委員は、村長の推薦により、法務大臣が委嘱する要職です。国民の基本的な人権が侵されないように監視し、そのようなことがあった場合には、相談相手になって適切な処置を行います。人権に関する悩みや問題がありましたら、気軽に相談してください。



堀川 孝男さん

い。相談は無料で、秘密は堅く守られます。

◆村の人権擁護委員
佐々木純純さん(菅窪)
島山とし子さん(菅窪)
堀川孝男さん(羅賀)

再生可能エネルギー設備へ補助

村は、個人住宅の新築・改築の際に再生可能エネルギーなどの設備を設置する人を対象に、費用の一部を助成しています。

◆助成対象設備および助成額
①太陽光発電設備：太陽電池出力1キロワットあたり5万円(上限20万円)
②太陽熱利用設備：太陽熱温水器などの設置費用の3分の1以内(上限5万円)
③木質バイオマス熱利用設備：木質ペレットストーブまたは薪ストーブ(ペレット兼用可)で2次燃焼室以上の方式の設備の設置費用の2分の1以内(上限5万円)

◆助成対象者：村内に住所を有し、または有する見込みで、自らが居住する1戸建ての住宅に設置する人。また、村税および公共料金、その他村の債務に係る納付金を滞納していない人

◆助成条件：対象設備ごとに1世帯につき1回限り。助成を受けるためには、設備設置前の申請が必要です。事業は、平成27年度中に着手、完了してください

◆助成申請期間：平成27年度中に注意：申請時期や内容などにより補助を受けられないことがあります。着工前に担当課まで問い合わせ、協議してください。また補助金は予算の範囲内の交付となります

◆応募・問い合わせ先：政策推進課(☎34-2111)

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況 (3月20日現在)

寄付金総額	3668万9760円 616件(村内119件、県内157件、県外340件)
取り崩し額	359万0000円
基金残額 (運用益を含む)	3314万3938円

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課(☎34-2111内線15)までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：4月4日(土)～30日(木)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
4月4日(土)	若桐保育園入園式	若桐保育園	9:00～9:30	若桐保育園(☎37-3577)
7日(火)	田野畑中学校入学式	中学校体育館	10:00～11:15	田野畑中学校(☎34-2301)
8日(水)	田野畑小学校入学式	小学校体育館	10:00～11:00	田野畑小学校(☎34-2050)
10日(金)	たのはた児童館入園式	たのはた児童館	10:00～10:30	たのはた児童館(☎34-2331)
13日(月)	アズビィ健康スポーツ教室「卓球・ソフトバレー教室」	アズビィ体育館(20日、27日も開催)	20:00～21:00	教育委員会
15日(水)	アズビィ健康スポーツ教室「バトミントン教室」	アズビィ体育館(11日、18日も開催)	20:00～21:00	教育委員会
	幼児健診	健診センター	12:30～15:30	保健福祉課(☎33-3102内線54)
17日(金)	アズビィ健康スポーツ教室「フットサル教室」	アズビィ体育館(24日も開催)	19:00～21:00	教育委員会
26日(日)	春の一斉清掃	各地区	6:00～8:00	生活環境課
30日(木)	固定資産税1期、軽自動車税納期限			税務会計課

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 医科診療所☎33-3101 / 歯科診療所☎33-3100 / 保健福祉課☎33-3102

広報クイズ

問題の答えをはがきを書いて、役場政策推進課(4月20日まで)にお送りください。正解者の中から抽選で1名様にプレゼントが当たります。

Q1 新しい平井賀防潮堤の総延長は何メートルの予定?
A) 約358メートル
B) 約385メートル
C) 約538メートル

Q2 中学3年生が田野畑絵画クラブから贈られたのは?
A) 誕生花の絵
B) 肖像画
C) 読み聞かせの絵本

■前号(3月号)の正解
Q1→B、Q2→A
■先月当選者
応募件数2件、全員正解でした。厳正なる抽選の結果、上村牧子さんが当選。プレゼントは文房具など5点セット。みなさん、ぜひ感想を添えてご応募ください。

おめでた おくやみ

[平成27年2月届け出分]
(一部敬称略)

■安らかに ～お悔やみ～
工藤 山 泉 亀 木
サ ナ 梨 村
タ ナ 房 ム
ヤ ナ 光 ラ
タ ナ 光 ム
野 和 千 丈 山
西 和 千 丈 山
西 和 千 丈 山
西 和 千 丈 山

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口にお知らせください

はまなす号運休のお知らせ

都合により、4月は「はまなす号」の巡回はお休みします。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。巡回再開までしばらくおまちください。

◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)

村スポーツクラブ主催のスポーツ交流会が開催されました。27年度も開催されますのでみんなの積極的な参加をお願いします。

◆ソフトバレー交流会(H27.2.22)
4チーム20人が参加。優勝は「たのっしーチーム」。楽しそうだった。

◆バトミントン交流会(H27.3.1)
14人の参加者がわきあいあいと交流戦を行いました。面白そうなんす。

編集ごぼれ話
昨年5月号から担当し、1年間発行することができました。ご協力いただいた村民の皆さんには感謝申し上げます。引き続き27年度も担当します。初心を忘れずに作成しますので取材などの際はご協力をお願いします。(健)

★お仕事は？

北日本銀行の田野畑村役場の出張所を4月から担当しています。お客様のお金を管理する責任の重い仕事ですが、お客様と接することが大好きなのでやりがいを感じています。

★今、頑張っていることは？

地域のお客様の良い相談相手として信頼してもらえるよう金融商品や経済に関する知識を深めたいと思い勉強しています。

★休日は何をしていますか？

最近はアクセサリー作りに夢中になってます。お笑いのDVD鑑賞も好きです。

★理想の女性のタイプは？

話が面白くて頼りになる人が理想ですね。

★最後に一言お願いします！

役場にお立ち寄りの際にお声を掛けていただければ嬉しいです。



三浦 真希子^{まきこ}さん(22)＝岩泉町＝

わが家の
アイドル

小野 いちかちゃん(1歳8カ月)
順市さん・洋美さん＝菅窪＝

お母さんからのひとこと

愛想よくニコニコ笑顔振りまくいちかちゃん。いつも弟を可愛がってくれてありがとう。

きょうだいや周りの人と仲良く、健康で元気に大きくなってね。

成長の記念に、お子さんの写真を掲載しませんか。対象は村内に住所がある1歳～2歳くらいの子ども。かわいい笑顔で、村の皆さんに元気を届けてください。掲載を希望する人は、役場政策推進課広報担当(☎34-2111)まで連絡をお願いします。

春色梅暦とはいきませんが3月15日ごろから春を感じる日和になりました。この春の代、花笑みの梅の蕾が少しずつ膨らみの愛でる砌の上京の折、霞が関の官僚の方々から「吉村昭先生の「梅の蕾」、将基面誠先生の「無医村に花は微笑む」を購読しました。私たちは大の田野畑村ファンです。梅の蕾は春を告げていますか？」などの声掛けを受けました。私はその方々に「田野畑村の梅の蕾は、吉村先生を始めとする田野畑をこよなく愛して頂いている方々の思いを蕾に込め、神神しい真紅と真白の花を咲かせ続けています」と答えたところ、その方々は満面の笑顔を返してくれました。これこそが、花笑みの村の力であるのだと嬉しくなりました。同時に、村民の積み重ねてきた努力に感謝しながら帰郷しました。村民の皆さま、このように私たちは文化的な財産を持ち合わせているのですから、自信を持って価値創造に満ち溢れた地域づくりを邁進していきましょ。



石原弘の7
村長コラム